

第 3 号様式

(第 1 面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒210-0866
住 所 川崎市川崎区水江町4-9
氏 名 鹿島道路(株)・日本道路(株)・世紀東急工業(株)
川崎アスコン共同企業体 印
統括所長 相木孝行
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第 1 1 条第 1 項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名称 又は名称	鹿島道路(株)・日本道路(株)・世紀東急工業(株) 川崎アスコン共同企業体		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区水江町4-9		
該当する事業者 の要件	☒ 規則第 4 条第 1 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 2 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 3 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 4 号該当事業者		
	☐ 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	17	石油製品・石炭製品製造業
主たる事業 の内容	舗装材料製造業		
事業者の規模	☒ 原油換算エネルギー使用量		2,125 k l
	☐ 自動車の台数		台
	☐ エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	2022年度～2024年度(報告年度2023年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1、2、4号該当者等）

（1）計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度 (2021年度)	第1年度 (2022年度)	第2年度 (2023年度)	第3年度 ()年度	目標排出量
排出量 (t-CO ₂)	(実) 4,458 (調) 4,462	(実) 4,601 (調) 4,614	(実) 4,062 (調) 4,073	(実) (調)	(実) 4,414 (調)
削減率		(実) -3.2 % (調) -3.4 %	(実) 8.9 % (調) 8.7 %	(実) % (調) %	(実) 1.0 % (調) %

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値（任意記載）

原 単 位 等 の 活 動 量		合材・破砕量		原単位等の単位	t-CO2/ t
	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標とした値
	(2021 年度)	(2022 年度)	(2023 年度)	(年度)	
排出量原単位等の値	0.02654	0.02424	0.02873		0.02627
活動量の値	167,932	189,780	141,376		－
排出量原単位等の削減率		8.7 %	－8.3 %	%	1.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	前年度は製品製造量が167932 tで今年度は189780 tに増加し温室効果ガスの排出量も増加しましたが原単位は8.7%削減することができました。
第2年度	CO ₂ 排出総量は減少していますが、製品製造量が大幅に下がり、連続稼働率が減少したことにより原単位が8.3%増加する結果となってしまいました。
第3年度	
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	

（2）温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）（任意記載）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

計 画	1. 新型バーナの導入 2. 製品の中温化・フォームド化（製品温度を下げバーナの燃費向上）の検討	
第 1 年度	製品の中温化・フォームド化の試験中	
第 2 年度	製品の中温化・フォームド化の試験中	
第 3 年度		
計画期間における取組の評価 (第 3 年度の報告時に記載)		

(2) 再生可能エネルギー等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー等 の 種 類	追 加 検 討 の 有 無	検 討 結 果
太 陽 光	×	
風 力	×	
バ イ オ マ ス	×	
未 利 用 エ ネ ル ギ ー	×	
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー等の
価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有 無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電 設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

計 画	なし
第 1 年度	なし
第 2 年度	なし
第 3 年度	

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

計 画	保有するプライベートバスにおいて、原料である骨材・砂の搬入とリサイクル製品の搬出を船舶による海上輸送で行うことにより、トラックの出入り（陸上輸送）を減少させ、環境負荷の低減に貢献している。
第 1 年度	船舶による原料の搬入、製品の搬出を継続中。
第 2 年度	船舶による原料の搬入、製品の搬出を継続中。
第 3 年度	

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

（1）事業者単位

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
エネルギー起源 CO ₂ 排出量	4,458 t-CO ₂	4,601 t-CO ₂	4,062 t-CO ₂	t-CO ₂
原油換算エネルギー 使用量	2,334 KL	2,419 KL	2,125 KL	KL
事業所の数	1	1	1	

（2）事業所等单位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量（t-CO ₂ ）			
		基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
川崎アスコン共同企業体	川崎市川崎区水江町4-9	4,458	4,601	4,062	

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量（t-CO ₂ ）			
		基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度